

「胃と腸」において、「直腸肛門部病変」の特集が取り上げられるのは今回で3回目となる。初回は1977年で26年前のことである。第2回目は1987年で今から実に16年も前である。当時、急性出血性直腸潰瘍やmucosal prolapse syndromeなどが直腸肛門部病変のトピックスとして取り上げられていたことを思えば、この分野での積年の進歩が窺われる。

今回の特集では、外科医、内科医とも消化器専門医である以上、肛門部病変の診察・診断にも精通すべきであるというコンセプトを前面に出して編集企画を行った。本号ではまずはじめに、肛門3大疾患である痔核、痔瘻、裂肛を中心に直腸肛門部病変に対する外来診察の基本がしっかりと解説されている。また、同部の病変に対する診断法

では、前回の特集ではなかった新しい機能検査、EUS、CT、MRIなどに関して非常に充実した内容が盛り込まれている。さらに、肛門3大疾患と鑑別を要する重要な疾患群が、感染、IBD、腫瘍のカテゴリーに分けられて豊富な画像と共にわかりやすく取り上げられている。肛門管早期癌もまとまった数で検討され、同病変の早期発見早期治療に大いに役立つであろう。また、診断困難例やまれな直腸肛門部病変が主題症例として取り上げられ、同部病変の鑑別診断に寄与するであろう。

適切な治療は的確な診断によってもたらされるものである。読者は、今回の特集号を精読することで、直腸肛門部病変にも強い消化器専門医として明日からの診療活動を行うことができるであろう。

胃と腸

9月号(第38巻・第10号) 予告 発売予定 9月25日 定価(本体2,400円+税)

主題/胃腺腫の診断と治療方針

序説	胃腺腫の診断と治療方針……………	国際医療福祉大学附属熱海病院・内科	川口 実
主題	胃腺腫の悪性化の危険因子—特に肉眼形態、組織像、 形質発現との関連……………	九州大学大学院・形態機能病理学	八尾 隆史・他
	胃腺腫の病理診断—特に胃型(幽門腺型)腺腫について ……	滋賀医科大学附属病院・病理部	九嶋 亮治・他
	胃腺腫の長期経過—増大例および癌化例の週及的検討 ……	九州大学大学院・形態機能内科学	中村昌太郎・他
	胃腺腫の拡大内視鏡診断……………	東京慈恵会医科大学・内視鏡科	仲吉 隆・他
	長期観察および内視鏡的切除例からみた胃腺腫の 治療方針—積極的に治療する立場から……………	癌研究会附属病院・総合健診センター	高橋 寛・他
	長期経過からみた胃腺腫の治療方針—経過観察を 中心とする立場から……………	国立がんセンター中央病院・内視鏡部	蓮池 典明・他
主題症例	胃腺腫の病理診断—分子生物学的な解析……………	広島大学大学院・分子病理学研究室	中山 宏文・他
座談会	胃腺腫の取り扱いの現状……………	国際医療福祉大学附属熱海病院・内科	川口 実・他

胃と腸 (第38巻 第9号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2003年8月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,400円+税)

2003年年ざめ予約購読料35,010円

(増刊号5,500円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文栄社 ☎(03)3814-8541

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2003, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は©医学書院が保有します。

・ JICIS <©日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に©日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット) http://www.igaku-shoin.co.jp

(担当)飯村・渡辺・山中・小松原